

～的には…
(～にとっては…)

例文

Paul: Do you think Perth is a good place?

Tom: I **reckon** it's nice.

ポール：パースっていいところだと思う？

トム：俺的には、いいところだね。

●reckon

マジで？(本当に?)

例文

Helen: It's gonna snow tomorrow.

Paul: **You what?**

ヘレン：明日、雪が降るんだって。

ポール：マジで？

●You what?

●Really? など

※“You what?”は聞いたことを確かめる時、“Really?”は聞いたことに対して驚いた時に使う。

取材協力：St. Mark's International College

素朴な疑問

クリスマスに特に使える
英語表現ってある？

皆さんがよく知っているように、クリスマスの日、“Merry Christmas”と言って祝いますが、“Happy Christmas”と言うこともあります。また、プレゼントのことを“pressie (プレジー)”、クリスマスのことを“chriessie (クリスイ)”と短く言うのもオーストラリア流ですね。

(Karen さん)

ココだけの話(この場でしか話せない話)

例文

Paul: (Quietly) It was so fun last night, wasn't it?

Tom: Hey! Did I tell you I met a beautiful girl then?!

Paul: Si-! **Mom's the word.**

ポール：(小さな声で) 昨日の夜は楽しかったな。

トム：なあ、話したっけ？！俺、昨日の夜すごいキレイな子に会ったんだよ！

ポール：シー！**ココ(2人)だけの話だったろ。**

●Mum's the word

●Between you and me

●Between us

※“Between you and me”, “Between us”は、「ここだけの話、〇〇〇」と話が続くので、一般的にそれぞれのフレーズの後に内容(文章)が続く。

この方に聞きました!



Sunset Coast International English School
サンセットコーストインターナショナルイングリッシュスクール
校長

Neil Butler さん

まあいっか(しょうがないか)

例文

Wife: Tonight Tom, you look after the children.

Tom: (After she left the room)...**I have no choice. (I guess I have to.)**

奥さん：トム、今晚は子ども達のこと頼んだからね。

トム：(奥さんが部屋を出て行った後に) … (つぶやいて) **まあいっか。**

●I have no choice

●I guess I have to など

絶好調!

●on top of the world

●booming など

※“booming”は一般的に仕事について使う。

例文

Kate: How's work, Tom?

Tom: **It's on top of the world! (It's booming!)**

ケイト：トム、仕事はどう？

トム：**絶好調だよ！**

笑いすぎて
おなかが痛い
(息ができないくらい笑う)

例文

Paul: My god! Did you watch the comedy last night?

Tom: Yeah, **I laughed my head off! (I was in stiches! / I fell over laughing! / I pissed myself laughing!)**

Paul: Me too! I loved that.

ポール：なあ！昨日のコメディ観たか？

トム：うん、**笑いすぎておなかが痛くなっちゃったよ！**

ポール：俺もだよ！あれは最高だったね！

●laugh one's head off

●in stiches

●fall over laughing

●piss oneself laughing

※“piss oneself laughing”は比較的若者が使う。

素朴な疑問

誕生日の歌の後に続くかけ声って
何て言ってるの？

英語では誕生日の歌の最後の、“Happy birthday to you”の後に、誰か1人が“Hip-hip (ヒップ・ヒップ)”と言い、その場にいる全員が“Hooray! (フレイ!)”と言うかけ声を3回続けます。意味は、“万歳!”。次はぜひ一緒に言ってみましょう。(Neil さん)

取材協力：Sunset Coast International English School